

イスラムについての学習指導案

群馬県立桐生女子高等学校
指導者 田中隆志

- 1 対 象 高校1年生～高校3年生
- 2 現行学習指導要領との関連性
 - ・高校地理A「(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察」の「イ世界の生活・文化の多様性」
 - ・高校地理B「(3) 現代世界の地誌的な考察」
- 3 単元の目標

- 1 イスラム過激派によるテロ事件を背景に、「危険、テロ、怖い」といった短絡的イメージを持たれ、価値観や生活習慣について表面的な異質性が強調される「イスラム」が、他の宗教と倫理的・道徳的な面での共通性もみられる価値観をもつことを認識させ、相違を認めた上で共存していくことの重要性に気付かせる（地理A学習指導要領より）。
- 2 近年、世界全体でイスラム人口が急増していることから、日本とイスラムのかかわりが強くなっていること。互いを尊重し、相違を認めた上で共存する新たな社会の在り方を創造することが求められていることを認識する（地理A学習指導要領より）。
- 3 イスラムに対して欧米諸国や日本などで、差別と排斥の動きと共存の動きの両目が見られる現実を知る。そうした中で互いを尊重し、相違を認めた上で共存する新たな社会の在り方をどのように造像していくのか、生徒自身に考察させる。

4 展 開 (50分)

段階	学習活動及び学習内容（生徒の活動）	指導上の留意点	時間
導入	1 イスラムとは何か ・「イスラム」という言葉を聞いて思いつくものをグループで話合って発表する。 【想定される発表】 ・テロ、危険、こわい、無関心、I S、ムハンマド、クルアーン、豚肉を食べない	・4～6人のグループ学習を行うことを確認。 ・言葉、色、雰囲気、知っているもの、印象などグループ内で意見を出すように指示する。 ・各グループに付箋紙を配布し、そこに意見を書かせてもよい。 ・発表後、「怖い、危険」などの一面的なマイナスのイメージだけで、異文化をもつ人たちをとらえるのは誤りであることを示す。 ・本時は、イスラムとの関係を学ぶための授業であることを告げる。	8
本論	2 イスラムと日本の互いの相違と共通性 (1)「映像①イスラムの教え(3:25)」を視聴する。 (2)グループで、イスラムの生活と宗教のかかわりについて、自分たちにとって異質なものを、共感できると感じたものを出し合う。 【表面的に異質なものと感じるもの・・・生活習慣・慣習】 ・メッカの礼拝、一日5回の礼拝といった絶対的な信仰 ・アメコールと豚肉を禁忌とするハラール料理 ・ラマダン（断食月） ・女性の服装 【倫理的・道徳的に共感できるもの】 ・困った者、貧しい者を思いやる慈悲の気持ち。 ・贅沢を禁じるなど食への感謝の気持ち。	・イスラムの生活と宗教のかかわりについて、自分たちからみて異質なものを、共感できると感じたものに注目しつつ映像①を視聴させる。 ・視聴後に、表面的に異質と感じるものと、倫理的・道徳的に共感できると感じるものに分けて、話し合い結果をまとめさせ、発表させる。 ・発表後、異文化理解のためには、表面的に異質なもののばかり注目するのではなく、自分たちと共通なものを見つけ、共感することが必要だと示す。	10
	3 イスラムとの共存 (1)「映像②イスラムの広がり(0:57)」を視聴する。 (2)世界全体でイスラムとの共存が重要になってきている背景を、映像視聴後、グループで話し合い発表する。 【想定される発表】	・近年、日本でも世界でも、イスラムとの共存が重要性を増してきている理由を考えながら、映像②を視聴させる。 ・視聴後、世界全体でイスラムとの共存が重要性を増してきている理由について、グループで話し合わせ、発表させる	7

	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、世界各地でイスラム人口が増大している。そのため今後、自分たちと接点が増えることも予想できるので、共存を探る必要性がある。 ・イスラム最大の人口国であるインドネシアをはじめ、日本との経済的結びつきの強いアジア諸国が、イスラム人口が多い。日本は、これらの国々と観光などを通し相互交流する機会も多いので、共存は必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表後、2100年には宗教人口においてイスラムがキリストを上回り最大になると予想されること。2020年東京オリンピックでも多くのイスラム観光客を受け入れると想定されることから、今のうち共存をしっかりと考えなければならない状況であることを示す。 	
	<p>4 イスラムの排斥</p> <p>(1) 「映像③イスラムの差別・排斥 (1:01)」を視聴する。</p> <p>(2) 欧米など一部の国で、イスラムに対する強い差別・排斥の動きが起こっていることについて、その理由を映像視聴後、グループで話し合い、発表する。</p> <p>【想定される発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラム過激派によるテロ事件を背景に、イスラム全体を過激派と同一視する偏見が一部で広がっているため。 ・イスラム系の難民が欧米に大挙して流入しているため、コミュニティで反発、動揺が広がっているため。 <p>(3) 政治状況の異なる日本では、イスラムに対しての差別・排斥があるか。</p> <p>【想定される発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別はないと思うが、イスラム女性の服装、豚肉の禁忌などに対するの無理解はあると思う。 ・イスラム国のテロ事件発生以来、危険、こわいという偏見はあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米など一部の国で現在、イスラムに対する強い差別・排斥の動きが起こっていることについて、理由を映像③を視聴し考えさせる。 ・視聴後、欧米など一部の国で、イスラムに対する強い差別・排斥の動きが起こっていることについて、その理由をグループ内で話し合わせ、発表させる。 ・発表後、欧米とは状況が異なる日本では、イスラムに対する差別、排斥があるか、グループで考えさせる。 ・発表後、程度の差こそあれ、表面的な異質さに対しての偏見はあるというのが事実だと、指摘する。 	12
	<p>5 イスラムとの共存</p> <p>(1) 「映像④イスラムへの日本の対応 (3:42)」を視聴する。</p> <p>(2) 映像視聴後、グループで、今後、日本ではイスラムの受け入れに際して、どのような対応・配慮・対策が必要になるのか具体的に話し合い、まとめ、発表する。</p> <p>【想定される発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別をしたり、偏見を持つことがないよう、学校や職場などで、「イスラム」についてより知るための取り組みを行う。 ・地域や行政が、ハラルメニューを出す店舗や礼拝所の普及に積極的に支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、日本では、イスラムの受け入れに際して、どのような対応・配慮・対策が必要になるのか具体的に考えながら映像を視聴するように指示を出す。 ・映像視聴後、今後、日本ではイスラムの受け入れに際して、どのような対応・配慮・対策が必要になるのか具体的に話し合わせ、その結果をまとめさせ、発表させる。 	10
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化により異文化理解が重要なのだということを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化によって、様々な国や地域の人々と接する機会が増える中、イスラムに限らず海外の人々と接する場合は、表面的に異質な部分だけを見るのではなく、共感できる所を見つけ、相手の立場にたって共存の方法を考える必要があることを示す。 	3

5 評価の観点

- ① 関心・意欲・態度
- ② 思考・判断

グループ内の話し合いに積極的に参加し、発表することができたか。
教師の提示資料に対して、的確な考察をすることができたか。

- ③ 技能・表現
- ④ 知識・理解

自分の考察結果を、的確な表現で発表することができたか。

イスラムという異文化理解の視点が理解できたか。
